



皮膚科・アレルギー科

松戸ひなげし皮膚科

<http://www.hinageshi.jp>

● 診療時間 ●	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:30-12:30	○	○	○	休	○	○	休
14:30-18:30	◎	○	○	診	○	/	診

◎ 月曜午後のみ19:30まで診療
※ 受付は診療終了時間の30分前までです

お問い合わせ

TEL 047-711-7476



松戸ひなげし皮膚科

松戸駅西口徒歩2分

1F 松戸駅西口郵便局

〒271-0092
松戸市松戸1305-25 小畑ビル4F

ひなげし通信 No.3



院長 谷野 千鶴子

ひなげし通信

3号 不定期発行

お題「みずむし」

暑くなってきました。

『先生、みずむしができました!』と訪れる患者さんが増える時期です。

みずむしは足に白癬菌というカビが繁殖してできる皮膚病（足白癬「あしはくせん」）です。カビですから、高温多湿の梅雨時から夏場にかけて菌の増殖が活発になっていきます。

みずむしについての注意点は色々あるのですが、今回強調してお話したいのは、**足の皮膚病＝みずむしとは限らない**ということです。

ある皮膚科施設のデータによると、『足にみずむしができました』と言って受診した患者さんのうち、本当にみずむしだった人は全体の3分の2、残りの3分の1はみずむしとは異なる皮膚病だったとの結果が出ています。

ここでは詳しくお話しませんが、違う場合は汗による湿疹（ムレがきっかけでできる汗疱など）や、市販の塗り薬でかぶれてしまった接触皮膚炎の場合が多いです。

みずむしは、患部に白癬菌がいるかどうかを顕微鏡で検査すれば、きちんと診断できます。

診療にあたって困るのは、患者さんが自分の判断で市販薬を塗ってしまい、悪くさせた状態でいらっしゃる事です。症状に合わないお薬を使った場合、元々の症状が変わってしまっ、病気の診断が遅れてしまうことがあるからです。

また顕微鏡の検査をする際、お薬を塗った状態でいらっしゃると、皮膚にお薬が付いていて、検査の結果がわからなくなってしまうことがあります。

足の皮膚に何かできて、みずむしかも…?と思った時は、前日の夜お風呂に入った後お薬を塗らずに、そのままの状態でご来院ください。